

内部研修報告～「共に生きる」を考える
放課後等デイサービスぱすてる・ぱすてるびいす
管理者 山崎雅子



当事業所では毎月、テーマに沿った意見交換を行う会を開催しています。11月中旬、内部研修の機会を設け、「まつえサポートステーション絆」様から出前講座に来て頂きました。

テーマは「『共に生きる』を考える」。講話の中では、虐待はなぜ起こるのかというお話、また松江市での事件を受け、島根大学人間科学部3年次生(2019年度当時)の方が1年かけて集められた情報を共有させて頂きました。

その内容をもとに後半は、「虐待が起こらない為には?」というテーマについて、グループでの意見交換。話し合う中で、一緒に働く職員同士が個人の思いや気付きを交わす場、コミュニケーションこそがとても大切で、日々積み重ねていくべきものであると再確認できました。

何年も続けている法人の取り組みとして、始業前の理念の唱和があります。

そして、今回の研修で印象に残った言葉が、「本人を知る」「取り巻く環境を知る」「関わろうとする自分を理解する」。これらと法人の理念「あなただけの生き方を支援し続けます」が繋がり、重なることを感じました。今後も、関わる皆様一人ひとりを尊重し、発して下さったことを慎重に捉え、仲間と共有しながら、共に過ごす時間を大切にしていきたいと思えます。

虐待とは誰にでも身近に起こりうるもの。このことを忘れず、今回の学びを時間と共に風化させない取り組みが必要です。今後も都度学び、専門性やチーム力を高め、質の高いサービスが提供できるよう努めてまいります。

内部研修報告～「事例検討の進め方」
相談支援事業所ひまわり 所長 江指裕嗣



講師に島根大学人間科学部助教・足立孝子先生をお招きし、11月24日、12月1日の2回に分けて、法人内研修を行いました。コロナ禍ということもあり、参加者は20名以下とし、感染症予防対策を講じながらの開催となりました。1回目はソーシャルワークの基本の確認と事例の捉え方についてパネルシアターを用いて楽しくレクチャーを頂いたのち、サンプル事例を用い、野中方式の事例検討の仕方について演習。2回目は法人内の事例を参加者でアセスメントし、支援の手立てを考える演習を行い、先生からスーパーバイズを頂きました。

研修を通して、改めて一人の方の今までの暮らしや想いを知る中で、その方の気持ちや希望に沿った支援の大切さに気づかされた、等との意見も聞かれました。今後、それぞれの事業所での支援に活かして行ければ、と考えています。



「Facebook」や「マチコミ」では、日常の様々な活動や情報がご覧いただけます。



千鳥福祉会ホームページ
URL <http://www.tidori.org/>
E-mail chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp



「Facebook」
法人のFacebookページを情報発信委員会にて運営しております。
<<https://www.facebook.com/chidorifukushikai1415/>>
事業所での日々の様子を、SNSでより身近にお伝えできるよう頑張りますので、よろしくお願ひします!(フォローやリアクション頂けると大変喜びます!)



「マチコミ」にご登録の皆様へ
職員・保護者の連絡網として導入したメール配信サービス「マチコミ」について、アプリ版のご案内です。スマートフォンからご利用の場合は、アプリ登録でタイムラインの閲覧などより便利にお使い頂けます。
アプリのダウンロードはこちらから。
<※もしくは各ストアから「マチコミ」で検索。>
詳細は各事業所の情報発信委員までお気軽にお問い合わせください。

苦情や要望の受付・解決への取り組み報告
(令和2年10月～11月)

標記期間中に苦情の申し立てはありませんでした。
今後も真摯に対応していきたいと考えますので、お気軽にご相談ください。
なお、法人内、各事業所の苦情受付窓口以外に下記にご相談頂くこともできます。

千鳥福祉会苦情解決第三者委員
京 俊輔 氏 (島根大学人間科学部 准教授) TEL0852-32-6239
足立 孝子 氏 (島根大学人間科学部 助教) TEL0852-32-9051
島根県施設運営適正化委員会 TEL0852-32-5913

利用者みなさんの「声」受け付け報告
(令和2年10月～令和2年11月)

当法人では、利用者みなさんから上がるいろいろな相談、その「声」に耳を傾け、利用者みなさんの立場に立った支援をしていきたいと考えています。

全体的な傾向として、自立度が高い方が利用される事業所の方が多くの意見を頂いています。さらには、利用者自治会の機会等に一度に多数の意見が寄せられるようです。各事業所により、利用対象者やサービス提供形態が異なるため、一律の取り組みとはなりにくいですが、各事業所がそれぞれに工夫して「声」に耳を傾け、相談に応じていきたいと思えます。

	利用者みなさまより	ご家族みなさまより (世話人含む)
持田寮	0	0
ういんぐ	6	0
フレンド	15	0
ぱすてる・ぱすてるびいす	0	0
共同生活	2	0
大空	0	0

アンケートのご協力、誠にありがとうございました!

集計結果につきましては、追って発表させて頂きます。
(個人情報等は公表されません) 頂いた貴重なご意見を
ふまえて、より良い機関紙づくりに取り組んでまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。



Leaving
Care News
2021.01.01 No.138



〒690-0814 松江市東持田町1415
社会福祉法人 千鳥福祉会
TEL0852-24-8820(代)FAX0852-24-8825
障がい者支援施設 持田寮
多機能型事業所 L.C.C.ういんぐ
ワークセンターフレンド
共同生活援助事業所つばきの里
居宅介護等事業所千鳥福祉会ケアセンター大空
相談支援事業所 ひまわり
放課後等デイサービスぱすてる・ぱすてるびいす
URL <http://www.tidori.org/>
E-mail chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp



ご挨拶

新年あけましておめでとうございます。
「おめでとうございます」と、一緒に希望を持って新年を迎えたいと願いながらのご挨拶になりました。

また、日頃から、たくさんの方々のご支援を賜り、新しい年を迎えることができましたことに心からお礼を申し上げます。

これまで、島根は色々な災害から逃れて、「神に護られて」などと語ってまいりました。誰も都合のいいことは信じたいのですが、そうも言っていられなくなりました。昨年からの新型コロナウイルス感染症は40年ごとに襲う世界的な戦いといわれているようです。そして、コロナだけではなく、災害の度合いや頻度が近年高まっていると思いませんか。「地球規模の災害が日常化する時代」に…。一方、少子高齢化や人口減少が進み、20年後には社会構造も変化し、分断の時代がやってくる、と。

ここで、私たちは何をすればいいのでしょうか。自分の暮らしを守る手立てはあるのでしょうか。それこそ福祉に携わるようになった頃のことですが、「福祉は補完事業に過ぎない」と耳にした。「経済が潤い、税収が増えればそれが福祉に

千鳥福祉会 理事長 山本 昌子

回る」「福祉は経済成長あっての事業」「税収が減れば福祉に回すお金などない」…その理屈はわからなくはないですが、今はそう単純ではありません。

医療・福祉・保育・教育の必要性や需要性はどのようになるのか…社会構造が壊れる事態に及んで初めて気づかされる所ではないかと感じます。

経済的に豊かでありたいとは誰もが願うところですが、一方で、いくら経済的に豊かになっても「人は一人では生きていけない」という言葉の大切さも実感します。

千鳥福祉会は、今後も、変化の激しい社会の中で「あなただけの生き方を支援し続けます」という理念に表現した「変らぬ想い」を、ともに働く仲間と共有し、関わってくださる皆様のお力も頂きながら福祉の在り方の「次」を模索します。微力ではありますが、困難に負けず、「前に向かって歩み続ける法人・お役に立てる組織」でありたいと思えます。

どうか、今後ともご支援のほどよろしくお願い致します。

末筆になりましたが、皆様のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

編集/情報発信委員会

- 江指 裕嗣
- 津田 真治
- 森廣 奈未
- 竹内 朋宏
- 三原 恵美
- 日野 裕美
- 植尾 佳代

秋のお楽しみ!

フルーツ狩り

持田寮では11月に「秋の収穫祭」と題し、寮内でフルーツ狩り体験を行いました。備品を駆使して屋内に果樹園を再現。果物は本物なので、すぐに食べようとする方もおられました。それは午後からのお楽しみ。ティータイムには収穫したフルーツや森江栄養士の手作りデザートがテーブル一杯に並び、まるでホテルのレストランのよう。例年は旅行の時期でしたが、今年は施設内で工夫を凝らし、一風変わった、楽しいこと盛り沢山のイベントでした。



フレンド旅行

フレンド日帰り旅行は奥出雲・鳥取に4班に分けて行きました。どちらも初めて行く場所でしたが、お昼ご飯が美味しかったと好評で、次も又行きたいとの声も多く聞かれました!



クリスマス会



コロナ対策しながら余興に挑戦

フレンド

今年は、三密・換気・アルコール消毒に気を付けながら行いました。ご利用者の皆さんは、このような難しい状況下でしたので、実行出来たことに満足された様子でした。



皆で歌って踊って♪

ケーキんまあい!

男性チームでハンドベル♪

持田寮

12月25日、持田寮でのクリスマス会は、男性職員がハンドベル演奏、女性職員がバジャマ姿でのダンスを披露。利用者の皆さんも歌を歌ったり踊ったりと一緒に楽しんでおられました。森江栄養士の手作りケーキも食べ、あたたかみのあるクリスマスを満喫しました。



共同生活

高齢者の多いホームでは、話し合いで「ケーキよりぼた餅が良い!」との意見があり、ぼた餅と茶わん蒸して。男性ホームでは、女性利用者様の自立訓練の日に合わせて、手料理も振る舞われた華やかなクリスマス会に。女性ホームでは、利用者様自らケーキのデコレーションをされ、会の終わりにはプレゼントも。各ホームで皆さん楽しく過ごされました。

ぱすてる

ぱすてる・ぱすてるびいす合同企画のクリスマス会。プログラム作りや飾り付けから皆で協力。ゲームやエアロビクスなど頭と体を使って賑やかに、また一人ひとりの頑張りが見られた素敵なお時間でした。最後はサンタさんからプレゼントももらい、終始笑顔あふれる会となりました。

行く年に感謝

ういんぐ忘年会



今年は例年の行事が行えず、2020年ももう終わりという頃。少しでも利用者さん達に楽しんでほしい、気分転換になればと、忘年会を企画。班別で参加人数を抑え、感染症予防に配慮しながらの開催でした。ボードゲームなどをされたり、自分たちで飾りつけたケーキを食べたりし、最後はプレゼントをお渡し。皆さん、とても表情豊かに楽しく過ごされました。

アート活動のススメ



松江水燈路 Youtubeチャンネル

パステルアート等で作った行燈を、毎年事業所から出品しています。今年はいんぐ利用者様の作品のほか、ぱすてるからの合作3点が出品されました。会場で展示を見ることはできませんでしたが、Youtubeチャンネルにて、2020年出展作品の紹介動画が公開されています。また、ういんぐ・万代翼さんが【あったか賞】を受賞されました。「賞をもらえて嬉しかった。次回も賞が取れるように頑張ります」(万代さん)

松江水燈路 2020



島根県障がい者アート作品展

今年度は放課後等デイサービスの職員・児童の皆さんによる合作「みんなの町」が、会場入口に展示された他、ういんぐからも多数出品。どれも個性的で、見る人を楽しませていました。
「飾ってあるのを見て、キレイに出来たと思った」(宇野馨さん)
「自分の作品が展示され嬉しかった」(船津丈志さん)
「折り紙とストローでトンボを作りました。難しかったです。次はお城を作りたいです」(小藪一樹さん)
「温泉トラックを作る時に、タイヤの調整や家を作るのが特に難しかったです。でもがんばって良かったなと思いました。次はぱすてるの中の模型を作りたいです」(井下美恵さん)



ぱすてる・ぱすてるびいす作品



船津丈志さん作品



宇野馨さん作品

新春の慶びを共に

持田寮 初釜・書初め



力強い筆さばきで。

持田寮の新年は初釜から。抹茶をたて、和菓子とともに堪能。3日には書き初めをし、思い思いの言葉を半紙にしたためました。今年も皆さんと一緒に新年を迎えられ、嬉しく思います。



お抹茶おいしい〜

新成人・還暦お祝い(3名)



長崎円華さん(成人)

岩田浩晃さん(還暦)

足立真一さん(還暦)